



あおやま ひでたか
青山 英樹 議員

「にぎわう」って

熱意や情熱から賑わいをつくる

青山 町長自身が認める
厳しい財政の下、事業計
画は真に住民に寄り添っ
た要望かの見極めが必
要。複合施設を建てて
「にぎわう」を取り戻す
というのが、その定量的
目標、歩行者の通行量の
目標やイベントの回数、
空き家の減少数などがど
のようになると「にぎわ
う」となるのか。指標を
示して下さい。

町長 財政の健全度を図
り、優先順序、費用対効
果そしてできるだけ住民
の要望に応えていきた
い。

住民のニーズに沿った
要望の複合施設、町に賑
わいをつくるためのポ
ケットパーク、人の交流
を生み出す道の駅、総合
運動公園への思いを持っ
た多くの方に寄り添い、
事業を展開しています。

車座会議、子供たちの
協議、専門家の知見、住
民の意見、行政区からの
申し入れ、これら多くの
意見をまとめた第6次ま
ちづくり総合計画の議会



車座会議

議決、民意を反映した計
画であり、賑わいづくり
の環境を整備する。魂を
入れるのは住民だと思っ
ています。熱意、情熱や
行動から賑わいをつくっ
ていく、後世に喜んで頂
けるそんな施設をつくっ
ていきたい。

都市整備課長 平成27年
度ポケットパークのイベ
ント回数ゼロを、平成31
年度は10回に。

歩行者通行量平日21
6名を31年度260人
に。空き家58軒を31年度
目標55軒にします。

公共施設の維持管理費 縮減が先では

財政規律のバランス検討

ランスを検討し、次世代
に高負担を強いることの
ないよう努力を傾けま
す。

他の先進地では、すで
に公共施設の総合管理計
画、個別施設計画を作り

取り組んでいます。これ
については町でも個別施
設計画をつくり、長寿命
化、統廃合、更新等も含
め、24億もかかるものを
11億ぐらいに抑えていき
たい。

青山 町長は財政の厳し
さは「議員も町民も共有
するもの」とし、複合施
設、ポケットパーク、道
の駅、総合運動公園は住
民ニーズという。通りを
歩く人が44人増の「にぎ
わい」では費用があまり
に莫大すぎる。公共施設
の統廃合なり、集約を先
に進めるべきではない
か。

町長 第6次矢吹町まち
づくり総合計画では、復
興に遅れが生じないよ
う、矢吹駅周辺地区都市
再生整備計画事業、道の
駅推進事業、旧総合運動
公園用地利活用事業を重
点プロジェクトに位置づ
け、施策の選択と集中
で、限られた財源を必要
な分野へ重点化し、必要
なものをつくり、お金を
かけます。町民のニーズ
への対応、財政比率のバ



第6次まちづくり計画ワークショップ

町政を問う（一般質問）